



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月8日

上場会社名 大日本塗料株式会社
コード番号 4611 URL <https://www.dnt.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 里 隆幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 永野 達彦 TEL 06-6266-3102

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	54,782	1.2	3,931	29.5	4,271	30.1	2,728	24.9
2023年3月期第3四半期	54,122	7.8	3,035	16.5	3,283	20.0	2,185	30.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,365百万円 (45.0%) 2023年3月期第3四半期 3,011百万円 (106.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	95.92	95.36
2023年3月期第3四半期	76.99	76.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	98,028	58,185	56.4	1,944.60
2023年3月期	92,805	55,210	56.1	1,829.75

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 55,335百万円 2023年3月期 52,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		25.00	25.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	3.0	5,000	26.7	5,200	20.5	3,400	1.7	119.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	29,710,678 株	2023年3月期	29,710,678 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,254,811 株	2023年3月期	1,273,139 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	28,448,468 株	2023年3月期3Q	28,381,717 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、行動制限が解除されたことによる個人消費やインバウンド消費の回復等により、緩やかな景気回復基調となりました。一方で、長期化するウクライナ情勢や中東地域の不安定な政情、為替の円安推移等がエネルギー価格や原材料価格の上昇をもたらすなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの経営成績については、売上高は、照明機器事業における好調な推移により、547億8千2百万円（前年同期比 1.2%増）となりました。利益面では、原材料価格の高止まり影響があるものの価格是正の浸透もあり、営業利益は39億3千1百万円（同 8億9千5百万円増）、経常利益は42億7千1百万円（同 9億8千8百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億2千8百万円（同 5億4千3百万円増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[国内塗料事業]

一般用分野は、市況が本格的な回復には至らなかったものの、前期に実施した価格是正や高付加価値商品の拡販により、売上高は前年同期を上回りました。一方で、一部JIS製品におきましては不適切行為問題の影響で売上高が減少しております。工業用分野は、新設住宅着工件数の減少により建材用塗料の需要が大きく減少した一方で、一部市況の回復や価格是正の浸透により売上高は前年同期を上回りました。

当セグメントの売上高は、当期初に実施した粉体製造子会社の合弁解消に伴う売上高の減少約26億円により前年同期を下回りましたが、利益面への影響は僅少であり営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は、390億1千9百万円（前年同期比 2.2%減）、営業利益は19億7千9百万円（同 3億7千8百万円増）となりました。

[海外塗料事業]

東南アジア地域は、シンガポール及びマレーシアでは周辺地域の景気悪化に伴い期中より外装建材用塗料の需要が減速しましたが、タイ及びインドネシアでは自動車部品用塗料の需要が回復し、売上高は前年同期を上回りました。メキシコは、自動車生産台数の回復により需要が増加し、売上高は前年同期を上回りました。中国は、日系自動車メーカーの減産影響による販売低迷が継続し、売上高は前年同期を下回りました。

当セグメントの売上高及び営業利益は需要の回復基調に加え、円安による為替換算の影響により、前年同期を上回りました。

この結果、売上高は、64億1千6百万円（前年同期比 8.4%増）、営業利益は2億5千2百万円（同 1千万円増）となりました。

[照明機器事業]

業務用LED照明分野は、インバウンドの回復や首都圏再開発等を背景に商業施設向けや建築向けを中心に前期に引き続き需要が増加しました。UVランプ分野は、主に半導体関連市場向けに紫外線殺菌用途の需要が増加しました。また、価格是正の進展により売上高及び営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は、69億8千7百万円（前年同期比 14.9%増）、営業利益は13億6千4百万円（同 4億8千9百万円増）となりました。

[蛍光色材事業]

顔料分野ではEU地域の経済状況の低迷やファッション業界・文具業界での流行色の変化により需要が減少しましたが、その他分野において海外向け物件の獲得により需要が増加し、当セグメントの売上高は前年同期を上回りました。営業利益は顔料分野の売上減少及び各種コストの増加により、前年同期を下回りました。

この結果、売上高は、8億9千5百万円（前年同期比 4.2%増）、営業利益は2千万円（同 3千6百万円減）となりました。

[その他事業]

物流事業は、取扱量の減少により運送売上及び保管売上が前年同期を下回りました。塗装工事事業は、市況が緩やかに回復し売上高は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は、14億6千3百万円（前年同期比 7.3%増）、営業利益は1億1千万円（同 5百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は980億2千8百万円となり、前連結会計年度末と比較して52億2千3百万円の増加となりました。流動資産は407億9百万円で前連結会計年度末と比較して21億5百万円の増加となりましたが、これは現金及び預金の増加9億2千6百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少17億3千6百万円、電子記録債権の増加17億7千2百万円、棚卸資産の増加6億7千4百万円、その他の増加4億7千2百万円が主因であります。固定資産は573億1千9百万円で前連結会計年度末と比較して31億1千8百万円の増加となりましたが、これは有形固定資産の増加7億9千9百万円、無形固定資産の増加3億8千万円、投資その他の資産の増加19億3千8百万円によるものであります。

負債は398億4千3百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億4千8百万円の増加となりました。流動負債は302億1千4百万円で前連結会計年度末と比較して19億7千3百万円の増加となりましたが、これは支払手形及び買掛金の増加2億6千6百万円、短期借入金の増加24億円、未払法人税等の減少3億4百万円、その他の減少2億6千7百万円が主因であります。固定負債は96億2千9百万円で前連結会計年度末と比較して2億7千5百万円の増加となりましたが、これは長期借入金の減少3億円、リース債務の減少1億4千3百万円、繰延税金負債の増加7億5千2百万円が主因であります。

純資産は581億8千5百万円で前連結会計年度末と比較して29億7千4百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加20億1千3百万円、その他有価証券評価差額金の増加9億9千5百万円、為替換算調整勘定の増加9億2千万円、退職給付に係る調整累計額の減少6億4千9百万円、非支配株主持分の減少3億2千6百万円が主因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、当社の連結子会社において製造するJ I S製品について、社内で定めた検査規格に係る検査値の改ざん等の不適切行為があり、特別調査委員会において現在調査を行っております。今後、特別調査委員会の調査結果等により明らかになる事項によっては、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。現時点でその影響額を合理的に見積ることが困難であることから、2023年5月11日に公表しました業績予想を据え置いております。今後の業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,864	7,791
受取手形、売掛金及び契約資産	14,121	12,384
電子記録債権	5,171	6,943
商品及び製品	5,934	6,548
仕掛品	997	958
原材料及び貯蔵品	4,209	4,308
その他	1,324	1,796
貸倒引当金	△19	△22
流動資産合計	38,604	40,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,145	23,663
減価償却累計額	△15,148	△15,577
建物及び構築物（純額）	7,996	8,086
機械装置及び運搬具	24,164	24,376
減価償却累計額	△20,374	△20,588
機械装置及び運搬具（純額）	3,790	3,787
土地	11,400	11,430
リース資産	1,598	1,589
減価償却累計額	△964	△1,125
リース資産（純額）	634	463
建設仮勘定	144	1,025
その他	7,403	7,489
減価償却累計額	△5,822	△5,938
その他（純額）	1,580	1,550
有形固定資産合計	25,545	26,345
無形固定資産		
リース資産	74	42
その他	370	782
無形固定資産合計	445	825
投資その他の資産		
投資有価証券	7,728	9,148
繰延税金資産	1,909	1,811
退職給付に係る資産	18,061	18,689
その他	532	523
貸倒引当金	△23	△24
投資その他の資産合計	28,210	30,148
固定資産合計	54,200	57,319
資産合計	92,805	98,028

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,270	17,537
短期借入金	4,300	6,700
リース債務	505	477
未払法人税等	721	416
役員賞与引当金	55	—
製品補償引当金	215	178
その他	5,172	4,904
流動負債合計	28,240	30,214
固定負債		
長期借入金	700	400
リース債務	672	528
繰延税金負債	5,726	6,478
再評価に係る繰延税金負債	1,189	1,189
退職給付に係る負債	1,016	966
その他	49	66
固定負債合計	9,354	9,629
負債合計	37,594	39,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,440	2,440
利益剰余金	32,307	34,321
自己株式	△1,462	△1,441
株主資本合計	42,112	44,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,359	4,355
土地再評価差額金	1,717	1,717
為替換算調整勘定	790	1,711
退職給付に係る調整累計額	4,053	3,403
その他の包括利益累計額合計	9,921	11,188
新株予約権	164	164
非支配株主持分	3,012	2,685
純資産合計	55,210	58,185
負債純資産合計	92,805	98,028

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	54,122	54,782
売上原価	38,623	38,123
売上総利益	15,498	16,659
販売費及び一般管理費	12,462	12,727
営業利益	3,035	3,931
営業外収益		
受取利息	10	34
受取配当金	206	249
その他	236	192
営業外収益合計	454	475
営業外費用		
支払利息	56	56
その他	150	80
営業外費用合計	207	136
経常利益	3,283	4,271
特別利益		
投資有価証券売却益	8	178
その他	2	—
特別利益合計	10	178
特別損失		
固定資産処分損	42	75
減損損失	71	0
その他	24	—
特別損失合計	138	75
税金等調整前四半期純利益	3,154	4,374
法人税、住民税及び事業税	524	792
法人税等調整額	323	711
法人税等合計	847	1,503
四半期純利益	2,307	2,871
非支配株主に帰属する四半期純利益	122	142
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,185	2,728

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,307	2,871
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△200	995
為替換算調整勘定	1,577	1,147
退職給付に係る調整額	△672	△649
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	704	1,493
四半期包括利益	3,011	4,365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,615	3,995
非支配株主に係る四半期包括利益	395	369

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月29日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式18,328株の処分を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が21百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,441百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社と関西ペイント株式会社の連結子会社である久保孝ペイント株式会社との間で2015年1月に粉体塗料製造の合弁事業として設立したジャパンパウダー塗料製造株式会社について、2023年4月1日付で合弁事業を解消しております。また、久保孝ペイント株式会社が保有していた株式を2023年4月27日付で全株取得したことにより、ジャパンパウダー塗料製造株式会社は当社の完全子会社となりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	39,896	5,917	6,083	860	52,757	1,364	54,122	—	54,122
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	907	5	54	81	1,049	1,787	2,837	△2,837	—
計	40,804	5,923	6,137	941	53,807	3,152	56,959	△2,837	54,122
セグメント利益	1,601	241	874	57	2,775	104	2,880	155	3,035

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額155百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの固定資産の減損損失の計上額は、「国内塗料」において71百万円であります。

なお、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	39,019	6,416	6,987	895	53,319	1,463	54,782	—	54,782
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	801	0	29	71	902	1,762	2,665	△2,665	—
計	39,821	6,417	7,016	967	54,221	3,225	57,447	△2,665	54,782
セグメント利益	1,979	252	1,364	20	3,617	110	3,727	203	3,931

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額203百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。